

施策評価調書

施策名	5-2-1	青少年健全育成に向けた側面的支援		施策を取り巻く環境変化
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ	P. 67	
担当部課	教育部 生涯学習課	担当	社会教育担当	
		リーダー	山野井 紀奈	

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	3.7%	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
	第17位/全36項目(社会教育・生涯学習環境の充実)				
優先度	53.3%	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策
	第18位/全36項目(社会教育・生涯学習環境の充実)				

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの
 優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
(体験・交流活動の機会充実、リーダー育成環境の充実)							
指標1: 青少年健全育成を目的とした団体への自立支援(支援団体数):(団体)	22年度実績	計画	20団体	20団体	20団体	20団体	20団体
	20団体	実績					
指標2: 若者の地域貢献活動の場の提供数:(件)		計画	18件	18件	19件	19件	20件
	17件	実績					
指標3:		計画					
		実績					
指標4:		計画					
		実績					
指標5:		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	○「青少年健全育成を目的とした団体への自立支援」は、現在活動している20団体を、団体の自立に向け、継続して支援するという意味合いで設定しました。 ○「若者の地域貢献活動の場の提供数」は、ジュニアリーダースクラブや成人式実行委員会等、若者の活躍が期待できる「ステージ=場」のことを指します。						

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当初	6,478			
	決算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

後期計画における施策展開のビジョン		H24年度の狙い
自己評価(部)	H22 事後評価 子ども達が多種多様な体験ができるような取組みを行いました。人との触れ合い・仲間づくりを通して、おもしろい心が生まれ、自ら生きる力を蓄えあるいは支えるリーダーとしての資質を身に付けたものと考えます。 H24 事前評価 子ども達にとって多種多様な体験を積むことは、自らを高めると共に、人間力・社会力を養うための貴重な場であり機会であると考えます。また、人との触れ合い・仲間づくりを通して、おもしろい心を育み、ひいては他を牽引するあるいは支えるリーダーとしての資質も身に付けていくものと考えます。これらの機会づくり、きっかけづくりに務めていきます。	昨年度に引き続き、青少年に豊かな自然体験と集団生活体験の場を用意し、経験や体験によって得た力をもとに課題解決に向けて能動的に動き出すような青少年の育成に努めます。 また、地域の大人やジュニアリーダーなど、多くの人々と接する機会を通して、心身両面から明るく心豊かで健康な青少年の育成及び地域においてリーダーとして活躍する人材を育成することに努めます。 さらに、これらに親の参加を促すことで、「親としての力」を向上させることにつながると考えます。 なお、このような「人」を育てるというような事業は、すぐに成果・効果が表れるとは限りませんので、継続・繰り返しが大切と考えます。
総合評価(町長)	総合評価 関係者との協力関係のもと、継続的に、自然体験や集団生活体験の場を用意し、青少年の健全育成に向けた施策展開がされていると評価するが、東日本大震災復旧事業に係る財源確保(事業費・人件費ともに)のため、今後の施策展開にあたっては、所管部署としても、事業執行と財源確保のバランスを十分に検討されたい。	施策傘下事務事業に係る個別指摘事項 ・全て「継続事業」とする。 ・団体運営費補助にあつては、引き続き団体との協議を密にし、適切な役割分担、良好な協力関係を構築されたい。